

サイバー犯罪の現状と対策など2講演

広島県代協 「保険の月セミナー」をハイブリッドで開催



川向会長

広島県代協(川向満典会長)は、11月11日午後3時から、「保険の月セミナー」をWeb形式と限定出席のハイブリッドで開催した。第一部講演では、日本国内でサイバー犯罪が多発する実情を踏まえ、広島県警察本部生活安全サイバー犯罪対策課員の井上氏が「サイバー犯罪の現状と対策」を、第二部講演として東京2020パラリンピック競技大会でやり投げ選手として6位入賞を果たした白砂匠庸氏(あいおいニッセイ同和損保)が「挑戦! 自分の障がいを力に!」をテーマに講演を行った。

増加するサイバー犯罪 潜在化防ぐために情報提供を

講演に先立ち、川向会長が「昨年11月は70周年事業としてセミナー開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で記念誌の発行のみとなってしまった。本日のセミナーは本来なら大勢の皆様が熱気を感じながら開催しなければならなかったが、今はどうか我慢しなければならぬかもしれない。本日の講演は二本立てで趣の異なるテーマを用意した。きつと皆様のお役に立つものだと確信している。代協の非会員代理店、保険会社の皆様は今後代協入会

へのお声がけすることが多々あるかと思う。広島県代協の活動の趣旨をご理解いただき、倍旧のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

永年表彰者の紹介後に行われた第一部講演では、広島県警察本部生活安全課サイバー犯罪対策課員の井上氏が「サイバー犯罪の現状と対策」について講演した。同氏は、まず、広島県下において平成15年から18年間にわたって刑法犯認知件数が減少している中にあること、サイバー犯罪は年々増加していること報告。令和3年9月末で3846件の相談を受け、最終的に前年を上回る件数を処理していること述べた。そして、サイバー犯罪は①匿名性が高い、②

楽しく競技すれば記録は伸びる

「攻撃者が不特定多数の企業を攻撃し、その中で侵入に成功した企業を足掛かりに最終的にターゲット企業へ侵入し、データを奪取したりシステムを破壊したりする手段で、電子メールや外部記録媒体がよく利用されている。」

「標的型メール攻撃」は、電子メールを使って特定のターゲットを絞って攻撃する手段で、製品やサービス契約、クレームに関する問い合わせ、至急対応依頼、公的機関からのお知らせ、アンケート調査、宅配業者からの不在通知などがある。フリーメールアドレスを使ったりしている。

これらの攻撃に対する基本的なセキュリティ対策として、①不審なメールを開かない、②大切なデータは必ずバックアップする、③定期的なパッチアップ、④アプリケーション情報確認してアップデートする、⑤フットやアプリは公式サイト等の信頼できる場所からダウンロードする、⑥パスワードは使い回しを

しないといったことを挙げ、具体的に非常によくわかりやすく説明した。また、パスワードは定期的に変更した方が良く、より耳にするが、現在では「実際にパスワードが破られてアカウントが乗っ取られたりなどした事実がなければ変更しなくても良い。その理由は、定期的に変更することで、そのパターンが読まれるケースが発生したことによる。今は、パスワードをできるだけ複雑なものにすることが推奨されている」といった最新情報を提供した。

広島県警では、セキュリティのチラシを作成し配布するとともに、サイバー110番といった相談ダイヤルを設けている。最後に同氏は「サイバー犯罪の実態を明らかにするために潜在化させないことが重要となる。そのために皆様の情報提供をお願いしたい。情報は調査・分析して犯罪調査や企業に対する注意喚起、被害防止に役立っている。皆様からの情報提供がサイバー空間の安全につながる」と強調した。



白砂氏

第二部では、あいおいニッセイ同和損保の白砂匠庸(しらまさ たくよし)氏が「挑戦! 自分の障がいを力に!」を講演した。同氏は、今夏の東京2020パラリンピック競技大会のやり投げで6位入賞を果たした。障がい者スポーツを強く支援しているあいおいニッセイ同和損保に2017年に入社し、仕事と競技を両立しての入賞となった。

講演では、同氏が2歳のときに農機具に左腕を巻き込まれて関節から先を失ったこと、高校時代の陸上部の恩師との出会いが人生を大きく変えたこと述べた。とくに恩師の一言が障がいに対してコンプレックスを持っていた同氏の考えを変えることにも、パラリンピックへの挑戦を後押ししてくれたと振り返った。そして、訓練する中で「楽しく競技することによって記録は伸びる」ことを学んだ。今後の目標は、3年後にパリで開催されるパラリンピックへの出場と仕事との両立で、「今からいろいろなことにチャレンジしていきたい」と抱負を述べた。

最後に、青木道男副会長が「一つの代理店だけが進むのではなく、より高い地位を求めてみんなで進むことが大切だと思う。これからも広島県代協はより高みを目指して一緒に頑張っていくのでよろしくお願ひする」と挨拶し閉会となった。